

年頭の あいさつ



豊山町議会議長
水野 晃

新年あけましておめでとうございます。新春にあたり、町民の皆様がご健勝で新しい年を迎えられましたことに心からお慶び申し上げます。

昨年は、平昌(ピョンチャン)オリンピック・パラリンピックでの日本選手メダル獲得、大谷翔平選手の活躍など、明るい話題がありました。

一方、国内では、猛暑、地震、集中豪雨、大型台風など、自然災害が猛威をふるい、大きな被害をもたらした年となりました。

本町におきましては、大規模災害に備えた町づくりに取り組みしております。

さて、本町では、県営名古屋空港利用者の伸び、あいち航空ミュージアムのオープンなど、豊山町を知っていただき、多くの方が訪れる機会が増え、地域の活性化につながってきていると感じております。今後も、町の活性化に向けた取組を継続していく必要があります。

本年は、第五次総合計画の策定年度となります。少子・高齢化が進む中、本町に住みたい、住み続けたいと思う町に向け、議会としても全力で取り組んでまいります。

また、議会運営の効率化へ向け、タブレット導入の検討会を行うなど取組を進めております。

開かれた議会、わかりやすい議会を目指してまいりますので、今後ともご支援とご協力をお願い申し上げます。

本年が皆様にとりまして、より良い年になりますよう心からお祈り申し上げます、新年のごあいさつとさせていただきます。

平成三十一年元旦

年頭の あいさつ



愛知県知事
大村 秀章

あけましておめでとうございます。

昨年は、二〇二二年度のオープンを目指すジブリパークの基本デザインを発表し、夢の実現に大きく前進した年でした。また、二〇二六年アジア競技大会の開催都市契約を締結し、開催に向けた準備が加速した年でもありました。

そして、二〇二七年度のリニア開業に向け、大交流圏の拠点として、道路ネットワークの充実など、愛知のポテンシャルを一層高めてきた一年でした。

時代は今、グローバル化とデジタル化の大きなうねりの中にあります。そうした変革期においても、愛知は、日本の成長エンジンとして、我が国の発展をリードし続けていく存在でなければなりません。

今年も、次世代自動車や航空宇宙、ロボットを始め、ICTやAIなどのデジタル分野まで、幅広く産業集積を進めるとともに、スタートアップ支援に戦略的に取り組むことで、世界一の産業の革新・創造拠点を目指してまいります。

また、九月に開業する愛知県国際展示場を核とした国際観光都市の実現に取り組むとともに、幅広い分野でグローバル化を進め、愛知のプレゼンスをより一層高めてまいります。

そして、社会インフラの整備、農林水産業の振興、女性の活躍、医療・福祉、教育・人づくり、環境、防災、東三河地域の振興にも力を注いでまいります。

今年は、全国植樹祭やあいちトリエンナーレ、ラグビーワールドカップ、技能五輪全国大会・全国アビリンピック、G20外務大臣会合を開催します。しっかりと準備を進め、大いに盛り上げてまいります。

引き続き、「日本一元気な愛知」の実現に全力で取り組んでまいりますので、県民の皆様の一層のご理解とご支援をお願い申し上げます。

平成三十一年元旦